

きらり★まちづくり (vol.28)

ふれあい  
交流と  
達成感を大切に

鹿嶋市まちづくり連絡協議会  
会長 小堀 一さん(旭ヶ丘)



日頃の活動について

平井地区まちづくり委員会の活動を中心としています。特に、大きな事業である「ひらい夏祭り・住民体育祭・ひらいまつり」を実施することは大変で、たくさんの地域住民の方々にご協力をいただいています。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響により、例年どおりの開催はできませんでしたが、地域住民が触れ合える機会を提供したいという思いから、規模を縮小して、砂の造形大会と作品展示を中心としたひらいまつりを実施しました。

今年度もコロナ禍の中での事業展開となりますが、地域住民の交流の「場」を提供するために、活動を継続していきたいと思っています。

市民活動の大切さ

市民活動をとおして感じることは、地域住民が子どもからお年寄りまで、一人ひとりが触れ合い、そして何かしらの「達成感」を得ていただくことが大切だと感じています。やはり、現代の子ども達にとっては地域の大人達と触れ合える機会は貴重ですし、その機会を提供できるの

は市民活動だと思います。また、新しく地域に住まわれた方々が地域に溶け込んでもらい、この地区に住んで良かったと思ってもらえることが大切だと考えています。もともとこの地域に住んでいる方々と交流してもらうには、地域の行事などに参加してもらうことが必要ですし、その交流の「場」を提供する窓口の役割もまちづくり委員会は担っていると思います。

市民活動の課題は？

やはり、自治会加入率の低下だと感じています。昨年度、まちづくり連絡協議会で取り組んだ住民アンケート調査では、特に若い世代からの自治会加入に対する後ろ向きな意見が見られました。中には、自治会に入ってもメリットがなく、デメリットしかないなどの意見もありました。

そのため、自治会離れを減らすためにも、メリット、デメリットをきちんと改めて考えることが大切であり、また、地域によっては、自治会独自の約束事があり、新しく加入しづらいという意見もあるので、時代の変化に応じて自治会自体の在り方

も検討していかななくてはいけないと感じています。

今後の取組み

まちづくり連絡協議会としては、昨年度各地区で取り組んで作成した地域コミュニティプランを活用しまして、今年度は、これまでの成果と課題をふまえて令和4年度からの新たな市民組織の体制と活動の在り方、市民の学習と活動を支援する公民館の役割等について検討していきたいと考えています。そのため、地域の市民団体のみなさまにも参加していただく地区別学習会を予定しているところです。

オリンピック  
鹿嶋市開催への期待

私自身、前回の東京オリンピックを思い出して感じることは、やはり世界的なイベントとなると日本全体が盛り上がり、サッカー競技が鹿嶋市で開催されますので、市民の記憶に残る大会になると思います。そのため、コロナ禍ではありますが実施していただき、元気をもらいたいですね。

活動風景



▲平井地区「砂の造形大会」



▲平井地区「花いっぱい事業」

PROFILE

- こぼりひとし
- ・鹿嶋市旭ヶ丘在住
- ・鹿嶋市まちづくり連絡協議会 会長
- ・鹿嶋市平井地区まちづくり委員会 委員長
- ・座右の銘  
「為せば成る 為さねば成らぬ何事も  
成らぬは人の為さぬなりけり」
- ・趣味はスポーツ全般  
(山登りやサッカー観戦など)



CONTENTS

- 2 「第24回鹿嶋市美術展覧会」
- 2 KASHIMAポストカードデザインコンテスト  
入選作品
- 3 しみせんのひろば
- 3 地域レポート・まちづくり探検隊  
“おもてなし”の学習活動
- 4 INTERVIEW ROOM・きらり★まちづくり  
「鹿嶋市まちづくり連絡協議会 会長 小堀 一さん」

予告 2020+1 KASHIMA  
文化交流フェスティバル

令和3年7月22日(木)～8月5日(木)

会場：まちづくり市民センター

プログラム(予定)

- 主催 鹿嶋市・鹿嶋市教育委員会・鹿嶋市文化協会・(公財)鹿嶋市文化スポーツ振興事業団
- 主管 オリピックを楽しむ市民の会

- 館内**
- ・第24回鹿嶋市美術展覧会 (詳しくは2ページへ)
  - ・埋蔵文化財出土品展
  - ・勾玉づくり体験コーナー
  - ・東京2020大会開催記念 おもてなしグッズ配布 (KASHIMAポストカード・開催記念缶バッジなど)
  - ・歴史講演会

- 屋外**
- ・おもてなし「ひまわりひな壇」
  - ・ペットボトルキャップアート展
  - ・野外いけばな展
  - ・市民活動団体によるステージ発表など

プログラムの開催日時などの詳細は、後日お知らせします。

- 新型コロナウイルスの感染状況、オリンピック開催状況によりプログラムが変更になる場合があります。



▲2019KASHIMA文化交流フェスティバルにて防災パケツリレーの様子



▲2020KASHIMA文化交流フェスティバルにてはまなす公民館地区「塩づくり体験」の様子



# 第24回 鹿嶋市美術展覧会

東京2020オリンピックサッカー競技鹿嶋市開催の日程に合わせて、2020+1 KASHIMA文化交流フェスティバルと同時に第24回鹿嶋市美術展覧会を開催します。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、第23回鹿嶋市美術展覧会に出品した会員以上及び最優秀賞、優秀賞の受賞者による会員特別展として開催されましたが、今年は、オリンピック開催記念といたしまして、新たに自由創作部門を加え、出品作品を公募します。



▲昨年の会員特別展会場の様子

<p><b>日程</b> 7月22日(木)～8月5日(木) 9時30分～17時 ※月曜日休館(ただし、8月2日(月)は開館) ※最終日は15時終了</p> <p><b>部門</b> ●絵画 ●書 ●写真 ●工芸 ●自由創作</p> <p><b>会場</b> 鹿嶋市まちづくり市民センター</p>	<p><b>出品申込期間・方法</b> 6月8日(火)～7月4日(日) 9時～17時 まちづくり市民センターもしくは各地区まちづくりセンターにて、所定の申込用紙に必要事項を記入して申し込みください。 ※月曜日休館</p> <p><b>出品資格</b> 鹿嶋市在住・在勤・在学(高校生以上)・鹿嶋市出身者または市内の社会教育施設などを活動の場とする方。</p>
---	---

【問合せ】鹿嶋市まちづくり市民センター TEL.83-1551 FAX.83-1553

## KASHIMAポストカードデザインコンテスト入選作品

令和2年8月1日(土)～9月30日(水)までの期間で募集しておりました「KASHIMAポストカードデザインコンテスト」において、審査の結果、入選された絵画の部5点、写真の部5点の計10点をご紹介します。また、入選された作品については、7月22日(木)から開催予定の東京2020オリンピックサッカー競技鹿嶋市開催に合わせて、鹿嶋市を訪れたみなさまにポストカードとして配布されます。

### 作品テーマ

～あなたが伝えたい鹿嶋市の魅力～

絵画の部	<b>最優秀賞</b> 飯塚 薫さん 「ハマナス公園」	 【ハマナス公園】
	<b>優秀賞</b> 木嶋 恵美子さん 「下津の海」 宗安 和 恵さん 「芳春」 濱松 茂 喜さん 「御手洗池」 佐々木 桃 香さん 「色鮮やかな祭頭祭」	
写真の部	<b>最優秀賞</b> 河本 良一さん 「御船祭り」	 【御船祭り】
	<b>優秀賞</b> 菅谷 勲さん 「楼門のひととき」 笹本文 夫さん 「鹿嶋の花火」 齋藤 朋美さん 「下津海岸」 山本 保比古さん 「The Spirit of HAMANASU」	

利用しています!!

## 市民センのひろば



二胡という楽器は、中国のバイオリンとも言われ、美しく情感豊かなその音色は人間の声に最も近いとされます。あなたも悠久の世界を体験してみませんか。

かしま灘楽習塾「初めての二胡」講師  
蓮池 久美子さん(下津)



高校生会の指導員として活動しています。学生達がやりたい事をやり、学びたい事を学べる。そんな環境をつくれるように頑張っています。

鹿嶋市青少年育成市民会議  
前田 竜甫さん(平井)

## 団体紹介



「歌声サロン  
ピアッチェレ」

志賀 勝さん(青塚)

鹿嶋に来て17年。初めに鹿嶋市国際交流協会に入り、地元の方と知り合うことが出来、現在はピアッチェレの活動を続けています。

「ピアッチェレ」はイタリア語で「初めまして」の意味。毎月、市民センターで「ライブ&歌声サロン」を開催しています。市民バンドの演奏を聴いていただき、昔懐かしい歌を皆さんと一緒に楽しんで歌い、市民バンドやグループが、気軽に練習の成果を発表出来る場所づくりを目指しています。楽しく活動を続けて、どんどん仲間を増やしていきたいです。



▲日頃の活動の様子

## 地域レポート

## まちづくり市民センター



## 「おもてなし」の学習活動

市民センターでは、令和元年度から2年度にかけて、東京2020オリンピックサッカー競技鹿嶋市開催に向けての機運醸成を目的に、主催事業「市民カレッジ」や、市民団体との共催で、様々な講座を開講してきました。

オリンピックについて学び、鹿嶋市の魅力を知り、市を訪れる方に「おもてなし」の想いを届ける活動を念頭に学習しましたが、オリンピックという大きなイベントを契機に、あらためて自分たちのまちの歴史や文化財・自然環境等の市の魅力を再発見することができ、コミュニケーションツールを学ぶことで講座生同士に連帯感が生まれ、市の歴史・文化・芸術の発信にもつながりました。

「つどう」「まなぶ」「むすぶ」といった公民館の基本的な3つの機能のもと、目標を持って、地域住民が主体となり学び合ったことは、大きな価値を見出すことにつながりました。この経験は、今後様々な場面で活かされてくるものと思います。今回はこの学習活動の中から共催事業の取組みを振り返って、ご紹介します。

### 『和紙で彩るおもてなしうちわづくり』

ちぎり絵サークル「四季の会」との共催で実施したこの講座は、約4ヵ月に渡り、まちづくり市民センターと各地区公民館で実施され、延べ200人以上の市民が参加しました。鹿嶋市へ来訪された方への記念品として、無地のうちわに日本の景色や花や果実等を和紙で彩ったうちわを製作し、お持ち帰りいただくこと企画されたものです。

日本の伝統文化「和紙」を用いた「ちぎり絵」を初めて体験する方がほとんどで、代表の江尻志奈子さんをはじめ、四季の会の皆さんに、道具・材料等の準備から手ほどきまで、丁寧に指導していただき、初心者の方でも約2時間で製作出来ました。作る楽しさと贈る喜びを込めた「おもてなしうちわ」は、500本を数えます。



▲「おもてなしうちわづくり」にて



▲「英会話講座」にて

### 『o・mo・te・na・shi 英会話講座』

コミュニケーションツールとしての英会話を学ぼうと、鹿嶋市国際交流協会との共催で実施され、講師には鹿嶋市国際交流協会会員の草野マリーさんをお招きしました。基礎的な英語をベースとした解りやすいテキストで、実際に市内の地図を用いた道案内をしたり、トラブルに対処する会話を学習したほか、「おもてなし」の精神についても、ボランティアの心得等を教授していただきました。

また、講座生同士の雰囲気も良く、グループワークでは賑やかに、そして熱心に学び合い、切磋琢磨で、回を重ねる毎に上達してゆくのがよく分かりました。これからも国際交流の場で英会話は必要不可欠となるでしょう。この講座をきっかけに、独自に英会話の勉強を継続されている方もいらっしゃるようです。

### 活動報告

詳細については  
ホームページにて



市民センターのイベントや講座など随時更新!